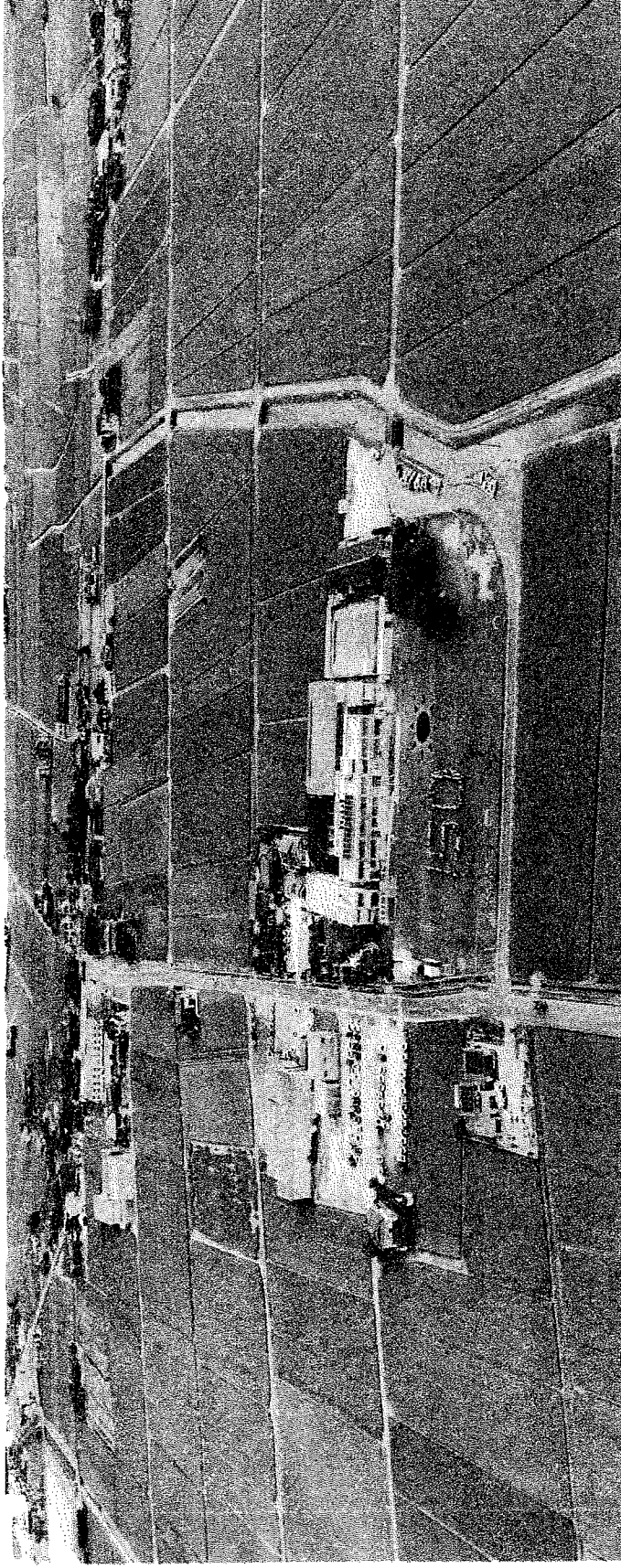


第4次名田島地区協働のまちづくり計画(令和7年度版)

(令和6年度～令和10年度)



1 基本理念 伝えよう次世代へ、より良い名田島を

名田島地区は、他の市内農山村部と同様に、急激な少子高齢化と人口減少に直面しています。特に、令和2年度から3年間続いた新型コロナウイルス感染症の流行により、地域コミュニティとしての活動が大きく制約されたことが、こうした傾向をさらに強めたように思われます。

このまま手をこまねていれば、地域コミュニティとしての活動力が一層低下して、名田島地区が孤立した一地域コミュニティとしては立ちゆかなくなる恐れがあります。

現在名田島地区に住み、生活している若い世代や子ども達に、生活基盤が維持され地域コミュニティとしての活力がある名田島を伝えて行くことを目指して、第3次計画に引き続いて「伝えよう次世代へ、より良い名田島を」という基本理念を掲げることになりました。

基本理念に掲げる「伝えよう次世代へ、より良い名田島を」を実現するために、幅広い分野に対応する目標を整理して5本の柱を立て、地域作りを進めることにしました。

名田島の持っている地域力を効果的に結集して、名田島自治会連合会と名田島地区社会福祉協議会が手を取り合い、地区内の各団体とも協力し合って、15項目の活動目標に沿った諸活動を展開して参ります。

2 活動の柱

(1) コミュニティの力を高める名田島

- ① 名田島らしさとは何かを考えよう ② 皆が集う「場」をつくろう ③ 名田島の情報を共有し良さをアピールしていこう
- 地区民同士の顔が見え、いざという時の団結力が名田島の強みです。地域作りを進める原動力となる『コミュニティの力』をより高めていきましょう。

(2) みんなが元気で活躍する名田島

- ① 子供を守り育てよう ② 三世代が互いを理解し高め合おう ③ 元気な名田島人を増やそう
- 様々な交流や経験を通じて、子供から高齢者まで、『みんなが元気に暮らすことが出来る地域』をつくっていきましょう。

(3) みんなが安心して暮らせる名田島

- ① 危険を察知して自分を守る目を育てよう ② 様々な危険から地域を守ろう ③ 安心して暮らせる環境にしていこう
- 地区民みんなが想定される危険から身を守り、『安心して暮らすことが出来る地域』をつくってゆきましょう。

(4) 美しい景観を守る名田島

- ① 住んでみたくなる環境をつくろう ② 校庭の芝生を地域のシンボルにしよう
- 私たちが住んでいるふるさと、『誇りを持ち続けることのできる美しい景観』を守ってゆきましょう。

(5) 住んでみたくなる名田島

- ① 人口減少に歯止めをかけよう ② 地域の足(交通)をつないでゆこう ③ 地域の伝統や文化を大切にし後の世代に伝えていこう ④ 地域内外での支え合いの輪を広げよう
- 魅力あふれる名田島をつくっていくことで、『これからも住み続けたいと思えるふるさと』にしてゆきましょう。

3 第4次名田島地区協働のまちづくり計画（令和6年度～令和10年度）

分野	活動目標	活動内容	具体的な内容の例示	自治体	地区・協働
1 コミュニティの力を高める名田島	1 名田島らしさとは何かを考えよう	あいさつがよく交わされる地域にしよう	子供や高齢者への声かけ運動の推進しよう	○	○
		住民同士の連帯感を醸成しよう		○	○
		自治会活動を活性化しよう	自治会活動と協働する社会活動の推進を図ろう	○	○
2 みんなが元気で活躍する名田島	2 皆が集う“場”をつくろう	集落会館を活用しよう	ふれあいいきいきサロンの推進をしよう	○	○
		皆が集えるイベントを開催しよう	高齢者の文化活動や健康増進活動の推進を図ろう	○	○
		名田島の魅力を地区内外に発信していこう		○	
3 安全な名田島を守ろう	3 名田島の情報を共有し良さをアピールしていこう	名田島フットパスコースを活用しよう		○	○
		名田島のイベントを地区外に発信していこう		○	○
		若者の集いの場を増やそう	小中学生・子育て世代の未来フォーラム開催	○	○
3 みんなが安心して暮らせる名田島	1 子どもを守り育てよう	子育て世代を支援する場を増やそう	名田島小学校の児童数増加策を考案しよう	○	○
	2 三世代が互いを理解し高め合おう	高齢者が集い活躍できる場をつくろう	敬老会への参加を呼びかけよう。いきいきサロンの充実をしよう	○	○
	3 元気な名田島人を増やそう	三世代が交流し合える場を増やそう		○	○
3 みんなが安心して暮らせる名田島	1 危険を察知して自分を守る目を育てよう	高齢者の健康を子どもたちに伝える場を増やそう	老人クラブ活動の充実を図ろう	○	○
		自分の健康は自分で守ろう	健康相談会の充実を図ろう。ラジオ体操を自分のものにしよう	○	○
		「生涯進歩」の気持ちを待ち続けよう	地域の人の日常的な交流の場を作ろう	○	○
3 みんなが安心して暮らせる名田島	2 様々な危険から地域を守ろう	地域防災計画を策定しよう		○	○
		避難情報や避難場所を伝えるシステムを整備しよう	災害避難情報アプリの改善と普及を求めよう	○	○
		定例の防災訓練を継続して実施しよう	8月最終日曜日の定例防災訓練を続けていこう	○	○
3 みんなが安心して暮らせる名田島	3 安心して暮らせる環境にしていこう	「支えあいマップ」の定期更新を実施し、情報の確認と共有を進めよう	集落単位での避難経路見守り体制の確立とマップの定期更新を推進しよう	○	○
		危険箇所のパトロールと状況報告を継続しよう	危険箇所のパトロールをしよう	○	○
		交通安全意識の啓蒙に努めよう	高齢者に交通安全を呼びかけよう。	○	○
3 みんなが安心して暮らせる名田島	3 安心して暮らせる環境にしていこう	地域で設置可能な安全促進施設（防犯灯等）を整備しよう		○	○
		安全な環境づくりに向けた要望・陳情活動を続けよう	集落自治会の活動を支援しよう	○	○
		災害時の安全確保に努めよう	避難訓練等での地域支えあいマップの活用を図ろう	○	○
3 みんなが安心して暮らせる名田島	3 安心して暮らせる環境にしていこう	災害時の安全確保に努めよう	小地区見守り活動の推進をしよう。ふれあい地区見守り活動の充実をしよう。	○	○
		要支援者の見守り活動を充実しよう		○	○
				○	○

分野	活動目標		活動内容	具体的な内容の例示	自治体	地区協議
	1	2				
4 美しい景観を守る名田島	1 住んでみたくなくなる環境をつくらう		美しい景観を守り育てていこう		○	
			地域の生活環境を整備しよう	ゴミやベントに関するマナーを守るよう	○	○
			地域の清掃活動に参加しよう	地域の清掃活動に積極的に参加しよう	○	
			鳥獣被害のない環境を整備していこう		○	
5 住んでみたくなくなる名田島	2 校庭の芝生を地域のシンボルにしよう		芝生を楽しむ機会を増やそう		○	
	1 人口減少に歯止めをかけよう		名田島の魅力を地区内外に発信しよう		○	
			い・iターンの受け入れ出来る環境を作ろう	公有地の住宅地化を検討しよう	○	
	2 地域の足(交通)をつないでいこう		空家・空地の保全・活用を進めよう	空家・バンク制度の利用を検討しよう	○	
			交通の不便な地域の交通手段を確保しよう	ライドシェアの採用も検討しよう	○	
	3 地域の伝統や文化を大切に、後の世代に伝えていこう		買い物弱者対策を検討・整備しよう	移動販売事業者との連携・活用を進めよう		○
			名田島に暮らす「幸せ感」を作り出そう		○	○
	4 地域内外での支え合いの輪を広げよう		郷土資料の発掘と保全、伝承に努めよう		○	
			ボランティア活動の輪を広げよう	各種ボランティア活動への積極的な参加をしていこう 山口孝幸大等PBL受贈生との協働を進めよう	○	○
			地域外の若い力に協力してもらおう		○	

4 協働のまちづくり計画の推進体制

地域づくり活動は多岐にわたるため、自治会連合会が全体のマネージメント機能を発揮しながら、自治会連合会に加入する団体等と相互に連携をとり、この計画を基に各種取組を進めていきます。

(1) 自治会連合会の活動

自治会連合会がこの計画を推進するに当たっては、役員会が「第4次計画推進本部」となっており、どの部会がどの「活動内容」を担当すべきかといったトータルマネジメントを行います。各部会が毎年度の事業計画を作成するに当たっては、この計画に示されている「活動内容」のうち各々の部会が担当すべき項目につき、「具体的な内容」を年度ごとの事業計画に盛り込んで適切に予算措置を行って、具体的な課題の解決に当たります。なお、複数の部会が協力して解決に当たるときは、「活動内容」については、部会横断的なプロジェクトチームを組織し、「全庁事業」として対応してゆきます。

なお、今後の社会情勢の変化に対応するため、今後2年度ごとにこの計画の進捗状況評価を行い、機動的に「活動内容」以下の見直しを行うこととします。

(2) 地区社会福祉協議会の活動

地区社会福祉協議会が取り組む「活動内容」の4項目については、それぞれの部会で討議し、理事会において協議し、事業の推進を図ります。

また、自治会連合会と協働して行うその他の「活動内容」については、理事会において討議及び協議を行い、自治会連合会と連絡調整を図ります。

なお、今後の社会情勢の変化に対応するため、今後2年度ごとにこの計画の進捗状況評価を行い、機動的に「活動内容」以下の見直しを行うこととします。

(3) 自治会連合会の加入団体について

加入団体は、それぞれの活動分野や立場に応じた特性・個性があるので、本計画に沿ってそれぞれの役割を果たしていくことが重要です。

そのため、各加入団体と連携調整を行いながら、効果的な活動が展開できるように連携を強化していきます。

参考資料 名田島地区人口等の推移

1 名田島地区人口の推移 (国勢調査の調査結果より)

年次	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和20年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年
世帯数	387	406	429	419	408	546	533	520	492	481	484	493	485
男性	879	959	1,101	1,077	1,065	1,344	1,393	1,324	1,185	1,045	967	910	900
女性	961	1,020	1,116	1,065	1,068	1,404	1,416	1,407	1,300	1,215	1,147	1,088	1,045
計	1,840	1,979	2,217	2,142	2,133	2,748	2,809	2,731	2,485	2,260	2,144	1,998	1,945

年次	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
世帯数	486	489	481	496	488	498	476	482
男性	900	832	789	767	684	645	600	558
女性	989	951	900	884	820	765	690	629
計	1889	1,783	1,689	1,651	1,504	1,410	1,290	1,187

2 名田島地区高齢化の状況

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
総人口	1,783	1,689	1,651	1,504	1,410	1,290	1,187
高齢者(65歳以上)人口	373	448	489	489	502	559	547
高齢者割合	20.9	26.5	29.6	32.5	35.6	43.3	46.4

3 幼稚園・小学校・中学校の子供の人数

区分	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年
名田島幼稚園園児数	33	23	20	14	11	10	10
名田島小学校児童数	120	107	77	64	50	46	49
湯上中学校生徒数	327	294	232	171	150	133	118

(注) 名田島幼稚園は令和4年3月31日をもって閉園となり、令和4年度から「山口みなみこども園」(旧鑄銭司幼稚園)に統合されました。

令和5年度策定
名田島自治会連合会
(令和6年4月18日開催の総会で承認決定)

名田島地区社会福祉協議会
(令和6年4月25日開催の総会で承認決定)